フレッシュマンコンサート

曲目

1部

1.

内山　颯（うちやま　そう）

所属：経済学部1年

作曲者：n-buna

曲目：ただ君に晴れ

曲紹介

カラオケ行ったら大体歌うやつ。

ヨルシカさいこう。

人物紹介

【基本情報】

名前　　内山颯

出身地	新潟
年齢	19歳
交際ステータス	独身
誕生日	6月15日
血液型	A型

【外見】

身長	170cm程度
スタイル	スレンダー

【仕事・学歴】

職場	学生
出身校	新潟高校

【性格・ライフスタイル】

性格	インドア、社交的
暇な時間	基本は週末

【希望のタイプ】

年代	20歳前後
スタイル	やや細身〜標準

【自己評価】

かっこよさ　　★★★★☆
やさしさ　　★★★★☆
かしこさ　　★★★☆☆

【自己紹介文】
プロフィールの閲覧ありがとうございます！最近失恋し、その傷を癒すために出会いを求めて始めました😊

出身は新潟で、現在は北海道の札幌で一人暮らしをしている大学生です。

趣味はピアノです😊j-pop♪をよく弾くので、聴きたい曲があったら是非言ってください。

お互いに誠実な関係でいられて、ときには冗談も言い合えるような人と付き合いたいです(^^)

よろしくお願いします

2.
赤坂　菜々花（あかさか　ななか）
所属：工学部1年

作曲者：ショパン

曲目：エチュードop.10-4

曲紹介

エチュードは日本語で練習曲という意味です。しかしショパンエチュードは芸術性も兼ね備えています。この10-4は2分ほどの短い曲ですが、最初から最後まで休む暇もないので、集中力がすごく必要な曲です。（実際、私の体力がないのもありますが、連続1時間の練習はなかなか出来ませんでした…。）ショパンエチュードの中でも難しい方の曲なのですが、大学生になって新しい目標が欲しくて選曲しました。弾けたらかっこいいな…と軽い気持ちで始めたのですが、受験のブランクもあり思う通りに指が動きませんでした（言い訳ですね、すみません）。テンポも書いてあるものまであげられておらず、完璧とは到底言えませんが、私なりに頑張って練習したので、温かい目で見ていただけると嬉しいです…

人物紹介

ピアノクラブきってのイケメン女子、菜々花ちゃん。石川県出身で建築好き、写真部にも所属しています。日帰り旅行に行った時、颯爽とカメラを構える姿には惚れ惚れしました。この前一人旅いいよね〜みたいな話もしてたのでかなり活発な人なのでしょう。筆者とは知り合って間もない頃から気さくに話してくれたり素敵な写真を送ってくれたりします！めっちゃいい子！！今回演奏してくれるエチュード 10-4はそんな彼女を体現するような情熱的な曲です。

追記: インスタ→@akasaka57518

菜々花ちゃんが撮影した綺麗な写真見れます！

3.

阿部　浩太郎（あべ　こうたろう）

所属：文学部1年

作曲者：バッハ

曲目：パルティータ第2番　ハ短調　BWV826より第1曲シンフォニア

曲紹介

音楽の父とも呼ばれるJ.S.バッハ。友人に聞くと「難しいしよくわからない」「単調でつまらない」「バッハ知ってるよ！あれでしょ！音楽の授業で眠くなるやつ！」などなかなかな言われようでしたが私の一番好きな作曲家です。音楽的にどうすごいか、何が偉大かは正直私には説明できませんがとにかく良い。そんなバッハの数ある作品の中でも私が最初に好きになり、今でも一番好きなものが今回演奏する曲を含むパルティータです。この作品はバッハが当時最先端の流行であったイタリア風の曲調を取り入れて作ったそうで(今回調べるまで知りませんでした...)、ドラマチックで幅広く展開する構成が魅力だと思います。

私が今回演奏する曲は6つからなるパルティータの第2番第1曲であるシンフォニアです。この曲は和音を軸にした重厚な導入から静

かに流れるようなメロディが始まります。まさに第1曲に相応しい、そんなぐっと人を引き込むような展開から後半では一気にテンポが上がり、左右の目まぐるしいほどの掛け合いで一気に終盤まで駆け抜けていきます。まさに3度美味しい、そんなこの曲を通してまだまだ拙い演奏ではありますが少しでもバッハの魅力を感じていただけたら嬉しく思います。

人物紹介

4.

加藤　レイラ（かとう　れいら）

所属：農学部4年

作曲者：ショパン

曲目：ノクターン op27-2

曲紹介

ノクターン（夜想曲）の語源はラテン語の「夜の」を表す形容詞nocturnusです．ほの暗く物憂い雰囲気の，いかにも夜想曲風なものも多いなか，ショパンは夜想曲をより自由でロマンチックな楽曲へと発展させました.

今回はOp. 27の2つのノクターンのうち27－2を演奏します.

曲全体を通してアルペジオの伴奏が一定で落ち着きがあり旋律の非和声和音や高音のきらめきが美しい曲です.

久しぶりの演奏で緊張していますがあたたかく見守っていただけると嬉しいです（笑）

人物紹介

はじめまして〜友達にすすめられて入れてみました！

趣味はおいしいごはん屋さんを開拓することです〜

お酒も大好きなので一緒に飲みに行けたら嬉しいなあ

休日はNetflixで韓ドラを見たりだらだらしてます〜

少しでも気になったら右スワイプしてね☆

5.

石村　文子（いしむら　ふみこ）

所属：農学部１年

作曲者：ドヴュッシー

曲目：版画　雨の庭

曲紹介

雨の庭は西洋海岸性気候らしいぱらぱらとした雨が降っている軽やかな曲だと思っております。

人物紹介

７月ぐらいから譜読みを始めてサークルの部室でちまちま練習を重ねていました。

6.

堀田　柊成（ほった　しゅうせい）

所属：水産学部1年

作曲者：ショパン

曲目：バラード1番

曲紹介

　この曲はショパンの曲の中で知名度も難易度も高い曲なのでよくコンサートで演奏されます。皆さんも一度は耳にしたことがあるかと思います。激しい箇所と穏やかな箇所、華やかな箇所それぞれ意識して弾くので注目して聴いてください。この曲を練習しはじめてから2年くらい経ちますが、未だに自分が満足する演奏ができていませんが頑張ります。

P.S.

　遊びの予定を寝坊して3時間僕が遅れてしまったことがあっても何食わぬ顔で他己紹介を引き受けてくれた友達に感謝！

人物紹介

「いきなりですけどね　うちのオカンがね　好きなピアニストがいるらしいんやけど　その名前をちょっと忘れたらしくてね　でまあ色々聞くんやけどな　全然分からへんねんな」

「分からへんの？　ほな俺がね　オカンの好きなピアニスト　一緒に考えてあげるから　どんな特徴言うてたかってのを教えてみてよ」

「フレッシュマンコンサートではショパンのバラード1番を弾くって言うねんな」

「堀田柊成やないかい　その特徴はもう完全に堀田柊成やがな　すぐ分かったやん　こんなんもう」

「でもこれがちょっと分からへんのやな　いや俺も堀田柊成と思うてんけどな　オカンが言うには　関西出身って言うねんな」

「あー　ほな堀田柊成と違うかぁ　彼は静岡出身で　さわやかもお弁当どんどんも知ってるんやから　ほなもうちょっと教えてくれる？」

「水産学部所属で　釣りが趣味らしいねん」

「堀田柊成やないかい　彼は釣りをするために自転車で石狩まで行くんやから」

「でもオカンが言うには　堀田柊成ではないって言うねん」

「ほな堀田柊成ちゃうやないかい　オカンが堀田柊成ではないと言うんやから　堀田柊成ちゃうがな　ホンマにわからへんがなこれ　どうなってんねんもう」

「んでオトンが言うにはな」

「オトン？」

「レジー・フィガーちゃうか？って言うねん」

「いや絶対ちゃうやろ　もうええわー」

「ありがとうございましたー」

2部

7.

浜口　怜子（はまぐち　れいこ）

所属：工学部1年

作曲者：ショパン

曲目：スケルツォ２番

曲紹介

"スケルツォ"はイタリア語で冗談・ユーモアなどを意味しますが、ショパンのスケルツォの作風は冗談とは程遠く、暗く重々しい印象を受けます。スケルツォ第2番が作曲された年は、ショパンがパリで華々しく活躍する一方、ヴォジンスカ嬢との破局や後に彼の恋人となるサンドとの出会いなど、彼にとって激動の時だったそうです。まさにその時々のショパンの心情が曲に反映されており、様々な感情が入り乱れせめぎ合う様子が感じられます。聴いてくださっている皆様の心を少しでも動かせるような演奏ができるよう頑張ります！

どうでもいいですが私の最推しのピアニストであるチョ・ソンジンがこの曲を演奏している動画がYouTubeにあります。技術力、表現力ともに神がかっているので全人類見てください。

人物紹介

彼女には嫌いな食べ物がありません。同じように嫌いな食べ物がない友達とご飯に行くときは、いつも何を食べるかとても迷ってしまうそうです。なので、何を食べるか決める良い方法があれば、ぜひ教えてあげてください。また、彼女はお笑い好きということを、最近知ったのですが、ユーモアセンスのある方はぜひ彼女を笑わせてあげてください！

京都出身ならではの、可愛らしい方言を話したり、自転車に上手く乗れず転んでしまったりなど、可愛らしい一面もある一方で、勉強熱心で、努力家でもある彼女の奏でる演奏を、ぜひお聴きください！

8.

石嵜　そら（いしざき　そら）

所属：総合文系1年

作曲者：シューマン

曲目：3つのロマンス 第 2 楽章 Op.28

　　ピアノ・ソナタ第2番 第 1 楽章 Op.22

曲紹介

1曲目の「3つのロマンス」は、作曲者のシューマンが当時恋人であったクララにクリスマスプレゼントとして送った曲です。クララはこの3つの中でも特に今回演奏する第2番を気に入り、「最も美しい愛の二重奏」と表現しました。2つのメロディラインをシューマンとクララのデュエットになぞらえてお聴き下さい。

2曲目の「ピアノソナタ2番」が作られた時期のシューマンは精神的に不安定な状態であり、クララへの愛情と渇望も相まって混沌とした心象がこの曲には表れています。絶叫のような導入から始まり焦燥感に満ちたメロディが続くと思いきや、突然天国のような甘美な世界に変化したりとシューマンの不安定な心情が垣間見えるのではないでしょうか。

クララに対するシューマンの想いがこれでもかというほど込められた対極的な曲調の2曲をどうぞお楽しみ下さい。

人物紹介

ではでは小樽が生んだハイスペックガール、石嵜そらちゃんについて解説しよう！

そらちゃんはピアノがめちゃくちゃ上手いのはもちろんのこと、趣味で被写体やったりインド哲学勉強したりしてるんだって！！

しかも噂によるとYouTubeデビューもしてるだって！！？

いやいやスペックお化けでしょこんなん！！

とても同い年って感じはしないなあ！！！

…いやこのテンションきっちい。知り合ってそろそろ半年。最初は完璧超人に見えたけど知れば知るほどボロが出てきて、でもそれが逆に人間味感じてよかったり。とはいえピアノの技術に関しては折り紙付き！ボロが出る気がしないね^^

そんな訳で石嵜そら、我らがハイスペックガール（）によるハイクオリティな演奏をご堪能ください！

9.

村越　和基（むらこし　かずき）

所属：札幌医科大学医学部医学科3年

作曲者：ショパン

曲目：バラード4番

曲紹介

バラード4番ヘ短調作品52

バラード3番と同様、充実した創作活動を行っていた頃である1842～1843年の作品です。変奏を伴ったソナタ形式風で、2つの主題を中心に音楽が展開していきます。

関連があると考えられている詩は「3人のブドゥリス」です。リトアニアの老人が3人の息子にそれぞれ別の国へ遠征し、宝を得て戻るように言いつけますが、3人とも長らく帰りません。もう死んだものと諦めていたある日、一人ずつそれぞれポーランド人の花嫁を連れて帰ってくる、という物語です。

旋律には言葉で表現できない様々な感情も含まれるような曲かと思います。

人物紹介

　むらこしかずき。京都に店を構える老舗の和食料理亭「むらこしや」の三人兄弟次男坊として生を受けました。嫡子ではない為店を継ぎはしないものの幼少期より鍛え上げられた包丁さばきは一級品で、次期親方である兄をも凌ぐ腕前だったそうです。あれ

は彼が高校二年生の事だったでしょうか、真面目で器用だったが飛び抜けた才能のない兄が、かずきの腕を妬み失踪したことすらありました。その時は大変で、伝統を重視し兄を擁護する派閥と実力重視でかずきを時期親方として持ち上げようとする派閥で軽い抗争があったものです。

　そんな天才肌のむらこし君ですが、北海道で自分の店を開く事が夢で、日々研鑽しているようです。（頼んでくれたら料理を振る舞ってくれるかも…？）そんな彼の演奏は彼の料理のように繊細で聴く者を虜にする事でしょう。バラ４、楽しみですね。

　お気づきの方もいるでしょうが、９割嘘です。でも最近草野球にハマってるそう。これはホント。